## 令和4年度 学校自己評価表 (報告)

<u> </u>		学校運営計画			
	「立志、叡智、敬		現に向け豊かな人間性を育	成する	5.
	また、社会の諸問	題を理解して解決に向け自	ら行動できる力を養うとと		
		求するために行動、実践で		→ <i>→</i> → →□	э. ш
学校運営方針		[命と役割を自覚し切磋琢磨	する力を養い、目らの目に	土実現	を果
	たす。  ○匆知・知此た自	′につけ、基礎・基本の確実	た翌得 白学白翌紀准的倉	训决士	スカ
		に、文武両道を果たす。	公自付、日子日自 <b>、</b> 医联局	刊但り	(J)
	○敬愛:自他を尊	重する心と相互に信頼し合		ともに	、礼
### A		権意識を備え、自己肯定感			
	成果と課題 全主顧家 72 00/2 進	<b>年度の重点目標</b> 教科指導力を高めて、生	具体的目標		
連路面は八子寺連号  学達成率79.9%、共			技業以普を推進する  基礎学力向上と応用力ので	が がんかん かんかん かんしゅう かんしゅう かんかん かんしゅう かんかん かんしゅう かんかん かんしゅう かんかん かんしゅう かんかん かんしゅう かんしゅ かんしゅう かんしゅん しん	図る
8%、大学等進学率57.			22 WC 1 731 1 1 2 C /M / 1175 1 7 1	1747	<u> </u>
立大学合格者数は17%		基本的生活習慣の確立を		<b>適した</b>	雰囲
難関私立大学合格者	数2名と目標値達成 1. 労然光光素 1. 15.75	促すとともに、規範意識		<u>ک ات ک</u>	下八六
をわずかに逃した。 6%と前年度比3.4%》			社会の一員としての自覚をに努める。	と作う	指导
率 (前年比6.6%減)			生徒及び保護者の進路意識	能啓発	に努
並の数値となった。	今後も出願先を広げ	観・勤労観を育成し、進	める。		
させ、多様な選抜制度			生徒の適性にあった進路選	選択を	指導
指導していきたい。	右胡の古恥地道へ		する。	兴准产	5 <del>&amp;</del> C
■ 生使指導囲ぐは、 生徒の容儀・挨拶の	毎朝の立哨指導で		進学達成率90%以上、大  0%以上、国公立大学と難		
る。スマートフォン			学の合格者数をあわせて2		
認めているため、違原			する。		
数件あったが、引き組	売き指導の徹底に努		生徒会行事と部活動の充気	実を図	る。
めていく。	まに トル 学品 カラマ	るとともに、施設の整備、生徒の健康管理、地	  図書館・視聴覚機器の利用	<u> </u>	<b>₹.</b> [W]
を編成して5年目と	責により学励クラス なる 学励クラスけ			月11公八	を凶
少人数授業や大学体験		めることによって、学校	生徒の健康管理と学校施言	2の整	備と
更なる進路意識の向」	上、進路希望達成を	全体の活性化を図る。	美化に努め、学習環境を整	整える。	0
目指す。また、医療国際			PTAと後援会の活性化を		
美を凶り、医療促事	·者の食放に取り組	教職員の働き方改革を推	定時退庁日における定時退庁の衞	「屁を図え	<b>5</b> .
すり	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				
<u>む。</u>   重点目標   具体的目標		進する。 具体的方策	業務の削減・工夫等、見直しを		) <sub>o</sub>
<b>重点目標 具体的目標</b> 授業改善る	授業を中心に、教	│進する。 <b>具体的方策</b> ₹育活動全般を通じて、生徒	業務の削減・工夫等、見直しを の「主体的に学びに向か	進める <b>評</b> (	) <sub>o</sub>
重点目標具体的目標授業改善を教科指導推進する	│ : 授業を中心に、教 う姿勢」を育成す	<u>進する。</u> <u><b>具体的方策</b> で育活動全般を通じて、生徒る。電子黒板やタブレットを</u>	業務の削減・工夫等、見直しを の「主体的に学びに向か 等を有効活用する。	進める	) <sub>o</sub>
重点目標具体的目標授業改善を担進する力の向上	注 授業を中心に、教 う姿勢」を育成す 積極的な授業公開	進する。	業務の削減・工夫等、見直しを の「主体的に学びに向か 等を有効活用する。 ト、教員の授業評価アン	:進める <b>評(</b> A	<u></u>
<b>重点目標 具体的目標</b> 授業改善を教科指導 推進する 力の向上 と生徒の	: 授業を中心に、教 う姿勢」を育成す 積極的な授業公開 ケート等を通して	<u>進する。</u> <u><b>具体的方策</b> で育活動全般を通じて、生徒る。電子黒板やタブレットを</u>	業務の削減・工夫等、見直しを の「主体的に学びに向か等を有効活用する。 ト、教員の授業評価アン 指導力向上を図る。	進める <b>評</b> (	<u></u>
重点目標具体的目標授業改善を教科指導力の向上と生徒の学力向上	注 授業を中心に、教 う姿勢」を育成す 積極的な授業公開 ケート等を通して 教員間で授業の相 にし、組織として	進する。 具体的方策 (育活動全般を通じて、生徒る。電子黒板やタブレットで) を生徒の自己評価アンケー、各教員が授業改善に努め、 国互観察を推進するとともに教科指導スキルを高める。	業務の削減・工夫等、見直しを の「主体的に学びに向か等を有効活用する。 ・ト、教員の授業評価アン ・指導力向上を図る。 、教科担当者の連絡を密	:進める <b>評(</b> A	<u></u>
重点目標具体的目標 授業改善を 投業改善を 推進するカの向上 と生徒の 学力向上基礎学力能	注 授業を中心に、教 う姿勢」を育成す 積極的な授業公開 ケート等を通して 教員間で授業して にし、組織として 同一科目担当者間	進する。  具体的方策 (育活動全般を通じて、生徒る。電子黒板やタブレットを) (予生徒の自己評価アンケー、各教員が授業改善に努め、) (互観察を推進するとともに教科指導スキルを高める。) (で授業進度と指導内容につ	業務の削減・工夫等、見直しを の「主体的に学びに向か等を有効活用する。 ト、教員の授業評価アン 指導力向上を図る。 、教科担当者の連絡を密	進める 評価 A B B	<u></u>
重点目標具体的目標製料指導投業改善を力の向上と生徒の学力向上基礎学力度上と応用力	注 授業を中心に、教 う姿勢」を育成は 積極ト等を業して 教員し、組織として相 に一科目担担当者の 」を行い、生徒の学	進する。 具体的方策 (育活動全般を通じて、生徒る。電子黒板やタブレットを) (予生徒の自己評価アンケー、各教員が授業改善に努め、) (予工観察を推進するとともに教科指導スキルを高める。) (で授業進度と指導内容につき力実態に即した効果的な授	業務の削減・工夫等、見直しを の「主体的に学びに向か等を有効活用する。 ト、教員の授業評価アン 指導力向上を図る。 、教科担当者の連絡を密	進める 評価 A B B B	<b>西</b>
<b>重点目標 具体的目標</b> 授業改善を 接進する が 教科指導力の向上 と生徒の 学力向上 基礎に が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	注 授業を中心に、教 ・ 授業勢」な育成公 ・ 有極の ・ 有極の ・ でを ・ でを ・ でを ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で	進する。 具体的方策 (育活動全般を通じて、生徒る。電子黒板やタブレットを) (予生徒の自己評価アンケー、各教員が授業改善に努め、) (互観察を推進するとともに教科指導スキルを高める。) (で授業進度と指導内容につき力実態に即した効果的な授分な指導を行う。	業務の削減・工夫等、見直しを の「主体的に学びに向か等を有効活用する。 ト、教員の授業評価アン 指導力向上を図る。 、教科担当者の連絡を密 いての綿密な打ち合わせ 業を行う。また、成績不	進める 評価 A B B	<b>西</b>
重点目標具体的目標製料指導投業改善を力の向上と生徒の学力向上基礎学力度上と応用力	だ 授婆勢の に成公して で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	進する。 具体的方策 (育活動全般を通じて、生徒る。電子黒板やタブレットである。電子黒板やタブレットである。) (予生徒の自己評価アンケケ、各教員が授業改善に努め、) (事を推進するとともに教料指導スキルを高める。) (事で授業進度と指導内容につきた対策能に即した効果的な授労な指導を行う。) (計算を行う。) (計算を行う。) (計算を行う。) (計算を行う。) (計算を行う。) (計算を行う。) (計算を行う。) (計算を行う。) (計算を行う。) (計算を行き、各教科 (大学中講習、長期休業中講	業務の削減・工夫等、見直しをの「主体的に学びに向か等を有効活用する。ト、教員の授業評価アン指導力向上を図る。、教科担当者の連絡を密いての綿密な打ち合わせ業を行う。また、成績不で弱点分野のフォローア	<ul><li>達める</li><li>評価</li><li>A</li><li>B</li><li>B</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li></ul>	<b>西</b>
重点目標具体的目標製料指導力の自力接進する大生徒の基礎に成立大力用が基上の本と育るある	だ 授婆 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	進する。 具体的方策 (育活動全般を通じて、生徒る。電子黒板やタブレットである。電子黒板やタブレットである。) (予生徒の自己評価アンケケー、各教員が授業改善に努め、) (五観察を推進するとともに教料指導スキルを高める。) (大変指導を行う。) (大変指導を行う。) (大変指導を行う。) (大変指導を行う。) (大変指導を行う。) (大変指導を行う。) (大変指導を行う。) (大変指導を行う。) (大変指導を行う。) (大変指導を行う。) (大変指導を行う。) (大変に即した数果的な授 (大変に取りたる。) (大変に取りたる。)	業務の削減・工夫等、見直しを の「主体的に学びに向か等を有効活用する。 ・ト、教員の授業評価アン 指導力向上を図る。 、教科担当者の連絡を密いての綿密な打ち合わせ 業を行う。また、成績不 で弱点分野のフォローア 習の内容充実により、学	注進める 評価 A B B B A A B	<b>西</b>
重点目標具体的目標製料授業投進接進大力の基上の本と本とでのでのででで <t< td=""><td>を</td><td>進する。</td><td>業務の削減・工夫等、見直しを の「主体的に学びに向か等を有効活用する。 ・ト、教員の授業評価アン 指導力向上を図る。 、教科担当者の連絡を密いての綿密な打ち合わせ業を行う。また、成績不 で弱点分野のフォローア 習の内容充実により、学</td><td>注進める 評価 A B B B A A A</td><td><b>西</b></td></t<>	を	進する。	業務の削減・工夫等、見直しを の「主体的に学びに向か等を有効活用する。 ・ト、教員の授業評価アン 指導力向上を図る。 、教科担当者の連絡を密いての綿密な打ち合わせ業を行う。また、成績不 で弱点分野のフォローア 習の内容充実により、学	注進める 評価 A B B B A A A	<b>西</b>
<b>重点目標 具体的目標</b> 授業 授推 授推 登	を業勢の を業勢の を実験的ト間、科いに学を欲生が をでいる。 をでは、成公しのし者のもトまさでが をでは、が力行ををはいる。 では、がかがで、がのしるのもとででででです。 をでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	選する。 具体的方策 「青活動全般を通じて、生徒る。電子黒板やタブレット」 「や生徒の自己評価アンケー、各教員が授業改善に努め、「互観察を推進するととる。」 「を接進度と指導内容に対策進度と指導内容に対策進度と指導内容に対策を行う。」 「対策に即した効果的な授分な指導を行う。」 「本田力を育成する。」で用力を育成する。 「常指導を行う。」 「中カードの集計を行い、改善にない。」	業務の削減・工夫等、見直しをの「主体的に学びに向か等を有効活用する。 ・ト、教員の授業評価アン、指導力向上を図る。 、教科担当者の連絡を密いての綿密な打ち合わせ業を行う。また、成績不で弱点分野のフォローア語の内容充実により、学	注進める 評価 A B B B A A B	<b>西</b>
<b>重点目標 具体的目標</b>	を	選する。  具体的方策 「青活動全般を通じて、生徒る。電子黒板やタブレット」 「一方を推進するとでである。」で生徒の自己評価アンケー、各教員が授業改善に努め、正人の大力を指導スキルを高める。」で授業進度と指導内容なおりで大力実態に即した効果的な指導を行う。 「一方な指導を行う。」で用力を育成する。 「「中方の集計を行い、改造の持ち込みは許可したが、	業務の削減・工夫等、見直しを の「主体的に学びに向か等を有効活用する。 ・ト、教員の授業評価アン ・指導力向上を図る。 、教科担当者の連絡を密いての綿密な打ち合わせ、業を行う。また、成績不 ・で弱点分野のフォローア・習の内容充実により、学 を図る。 校地内での使用は一切禁	注進める 評価 A B B B A A A	<b>西</b>
重点目標具体的目標製料の出標製作接進要性場上のる学応成要整に囲ん要整に囲ん本習え適気めで整に囲ん本習と商を整に囲ん本習に囲んを考える	を 一 で で で で で で で で を 要 が の に 育 業 要 が の に 育 業 の に で に で に の に 。 に の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。	選する。 具体的方策 「青活動全般を通じて、生徒る。電子黒板やタブレット」 「や生徒の自己評価アンケー、各教員が授業改善に努め、「互観察を推進するととる。」 「を接進度と指導内容に対策進度と指導内容に対策進度と指導内容に対策を行う。」 「対策に即した効果的な授分な指導を行う。」 「本田力を育成する。」で用力を育成する。 「常指導を行う。」 「中カードの集計を行い、改善にない。」	業務の削減・工夫等、見直しを の「主体的に学びに向か等を有効活用する。 ・ト、教員の授業評価アン ・指導力向上を図る。 、教科担当者の連絡を密いての綿密な打ち合わせ、業を行う。また、成績不 ・で弱点分野のフォローア・習の内容充実により、学 を図る。 校地内での使用は一切禁	選集の名 評価 A B B A A B A	<b>西</b>
重点目標具体的目標事点目標具体的目標授推授推接進一次<	を 一 で で で を 要 が で を で を で を で を で を で を で を で を で を で を で を で を で を で を で を で を で を で は 目 、 対 力 行 を を を さ で は も し 一 行 者 礎 プ で で は も し 一 で も に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に に で に に で に で に で に で に で に に で に で に に で に で に に に に に に に に に に に に に	選する。  具体的方策 「育活動全般を通じて、生徒る。電子黒板やタブレッケー」 「存きを対して、とりでする。電子黒板やタブレッケー」 「存きを対して、各数量が授業でする。」では、一次を指導である。では、一次を指導を行う。 「おまりができまずが、一次を対したが、では、一次で数量に関したの集計を行い、が、では、一次で数量に関いている。」では、一次で数量に関いている。「は、一次で数量に関いている。」では、一次で数量に関いている。「は、一次で数量に関いている。」では、一次で、一次で、一次で、一次で、一次で、一次で、一次で、一次で、一次で、一次で	業務の削減・工夫等、見直しをの「主体的に学びに向か等を有効活用する。 ト、教員の授業評価アン、指導力向上を図る。 、教科担当者の連絡を密いての綿密な打ち合わせ業を行う。また、成績不可弱点分野のフォローアで弱点分野のフォローアで習の内容充実により、学替を図る。 校地内での使用は一切禁司一基準で指導を行う。	<ul><li>連める</li><li>評価</li><li>A</li><li>B</li><li>B</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>B</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>B</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>B</li><li>B</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C<li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C<td><b>西</b></td></li></li></ul>	<b>西</b>
重点目標具体的目標製件的目標製作的目標授推要選出要選上のる要型え適気め要要要に囲進世大用をで対用をで対別要をで	を 一 で で で で で で で で を 要 が の に 育 業 の に 育 で に 育 業 の に 同 を 形 に 同 を 形 に に の の に る に の に の に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に る に る に	選する。 具体的方策 「育活動全般を通じて、生徒る。電子黒板やタブレット」 「存活動全般を通じて、生徒る。電子黒板やタブレット」 「や生徒の自己評価アンケー、各数員が授業改善とと努め、「互観察を推進するととる。」 「大変指導を行う。」 「大変指導を行う。」 「大変指導を行う。」 「大変指導を行う。」 「大変指導を行う。」 「大変指導を行う。」 「大変指導を行う。」 「大変に関した数異のは、一方の集計を行い、改造の持ち込みは許可したが、後及び教員に周知徹底し、「	業務の削減・工夫等、見直しをの「主体的に学びに向か等を有効活用する。 ト、教員の授業評価アン、指導力向上を図る。 、教科担当者の連絡を密いての綿密な打ち合わせ業を行う。また、成績不可弱点分野のフォローアで弱点分野のフォローアで習の内容充実により、学替を図る。 校地内での使用は一切禁司一基準で指導を行う。	<ul><li>連める</li><li>評価</li><li>A</li><li>B</li><li>B</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>B</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>B</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>B</li><li>B</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C<li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C</li><li>C<td><b>西</b> B</td></li></li></ul>	<b>西</b> B
重点目標具体的目標基点目標導体的目標接着導上の名場別基上のる学座に囲進社と本習立識性ののて一の本習立識性ののて一の本習立識性のので一の本習立識性のので社と	を 大学 で で で で で で で を 要 が で が に 育 業 の し 一 行 者 で で に 育 業 通 世 し 一 行 者 で で で で で に で が ま で に で に で で で で で で で で で で で で で	選する。  具体的方策 「育活動全般を通じて、生徒る。電子黒板やタブレッケー」 「存きを対して、とりでする。電子黒板やタブレッケー」 「存きを対して、各数量が授業でする。」では、一次を指導である。では、一次を指導を行う。 「おまりができまずが、一次を対したが、では、一次で数量に関したの集計を行い、が、では、一次で数量に関いている。」では、一次で数量に関いている。「は、一次で数量に関いている。」では、一次で数量に関いている。「は、一次で数量に関いている。」では、一次で、一次で、一次で、一次で、一次で、一次で、一次で、一次で、一次で、一次で	業務の削減・工夫等、見直しをの「主体的に学びに向か等を有効活用する。 ト、教員の授業評価アン、指導力向上を図る。 、教科担当者の連絡を密いての綿密な打ち合わせ業を行う。また、成績不で弱点分野のフォロア、習の内容充実により、学達を図る。 校地内での使用は一切禁司一基準で指導を行う。	<ul><li>進める</li><li>評価</li><li>A</li><li>B</li><li>B</li><li>A</li><li>A</li><li>B</li><li>A</li><li>A</li><li>B</li><li>A</li><li>A</li><li>B</li><li>A</li><li>A</li><li>B</li><li>A</li><li>B</li><li>B</li><li>A</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>C</li><li>E</li><li>E</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><l>D<li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D</li><li>D<td><b>西</b> B</td></li></l></ul>	<b>西</b> B
重点目標具体的目標基点目標導体的目標接着導上の名場別基上のる学座に囲進社と本習立識性ののて一の本習立識性ののて一の本習立識性のので一の本習立識性のので社と	を 大きな 大きな 大きな 大きな 大きな 大きな 大きな 大きな	選する。  具体的方策  (育活動全般を通じて、生たる。電子黒板や戸ブレンケめ、)  (育活動全般を通じブレッケめ、)  (中生教員が授業では善ととめるに数解にとる。)  (中生教員が授業である。)  (中生教員が授業である。)  (中生教員が授業である。)  (中生教員が授業できる。)  (中生教員が授業できる。)  (中生教育を行う。)  (中生教育を行うなどの表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表情を表	業務の削減・工夫等、見直しをの「主体的に学びに向か等を有効活用する。ト、教員の授業評価アン、指導力向上を図る。、教科担当者の連絡を密いての綿密な打ち合わせ業を行う。また、成績不ご弱点分野のフォウ、学習の内容充実により、学を図る。校地内での使用は一切禁司一基準で指導を行う。学路も含め街頭通学指導るため、個人ロッカーの	<ul><li>(進める</li></ul>	<b>西</b> B
重点目標 導点 点目標 導力と学具体的目標 受力用を 学応成 学をに囲進 とう 学整に囲進 をしたい でのて促努 でのて促努 を を を が見される を を を が見される で を を を で を で が が が が で が で が で が で が で が で が で が で が で が で で で が で が で が と で で で で で で で で で で で で で で で で で と で  で で で で で で で り で で で で で で で  で  で  で  で  で  で  で  で  で  で  で  で  で  で  で  で  で        	を 大きな で で で で で で を 変極一員し一行者礎プ意朝学マで校 学定重錠ら を 変極一員し一行者礎プ意朝学マで校 学定重錠ら で で で が に 育業通業と当徒てス。起関にォとを 向行物車る に の し者のもトまさでブンを正 上う・のこ 教す 関てれて間学十のたせ立ル等生し の。自ツと	選する。  具体的方策  (育活動全般を通じて、少ケースを通じて、少ケースを通じて、少ケースを通じて、少ケースを通りでである。)  (京活動全般を通じで、生徒のでは、一次をでは、一次をでは、一次をでは、一次をでは、一次をでは、一次をでは、一次をでは、一次をできる。)  (本のは、一次をできる。)  (本のは、一次をできる。)  (本のは、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	業務の削減・工夫等、見直しをの「主体的に学びに向か等を有効活用する。 ト、教員の授業評価アン 指導力向上を図る。 、教科担当者の連絡を密いての綿密な打ち合わせ、業を行う。また、成績不学の内容充実により、学達を図る。 校地内での使用は一切禁司一基準で指導を行う。 学路も含め街頭通学指導るため、個人ロッカーのができるよう指導する。	<ul> <li>注述める</li> <li>A</li> <li>B</li> <li>B</li> <li>A</li> <li>A</li> <li>B</li> <li>A</li> <li>B</li> <li>A</li> <li>B</li> <li>B</li> <li>B</li> <li>B</li> <li>B</li> </ul>	<b>西</b> B
重点目標 導力と学具体的目標 受力用を具体的目標 受力用を基上のる 学整に囲進 を対した。 学整に囲進 を対した。 では を対した。 を対した。 では を対した。 である では を対した。 を対して を対し を対して を対し を対し で を対し で を対し で を対し で を対し で を	大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	選する。  具体的方策  (育活動全般を通じて、少ケースを通じて、少ケースを通じて、少ケースを通じて、少ケースを通りでである。)  (京活動全般を地をですが、一次を記した。)  (京活動全般を神どでである。)  (京活動全般を神どでである。)  (京古の大きにとる。)  (古の大きにとる。)  (古の大きにとる。)  (古の大きにとる。)  (古の大きにとる。)  (古の大きにとる。)  (古の大きにとる。)  (古の大きにとる。)  (古の大きに、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	業務の削減・工夫等、見直しをの「主体的に学びに向か等を有効活用する。 の「主体的に学びに向か等を有効活用する。 ト、教員の授業評価アン 指導力向上を図る。 、教科担当者の連絡を密いての綿密な打ち合わせ、 業を行う。また、成績不要の内容充実により、学習の内容充実により、学 善を図る。 校地内での使用は一切禁 司一基準で指導を行う。 学路も含め街頭通学指導るため、個人ロッカーの ができるよう指導する。 注意を払う。アンケート	<ul><li>(進める</li></ul>	<b>西</b> B
重点目標 導上の 当時 場件的改す具体的目標 等 受 学 を が は 受 要 と で 表 と で が と で が に 要 を に 要 を で の で の で が と で が が と で が で が と で が と で が と で が と で が と で が と で が と で が と で が と で が と で が と で が と で が と で が と で が と で が と で が と で が と で と の で と に を が と の で と の で と の で と の で と の で と の で と の で と の で と の で と の で と の で と の で の で と の で と の で と の で と の で と の で と の で と の で と の で と の で と の で の で と の で と の で と の 	を 大きな で で で で で で が で が に 行 で が に 行 で が に 行 で が に 行 で が に 行 を 数 生 期 に の に で が に で が に で が に で が に で が に で が に で が に で が に に で が に で が に に で が に に に に に に に に に に に に に	選する。  具体的方策  (育活動全般を通じて、ツトラーででは、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大	業務の削減・工夫等、見直しをの「主体的に学びに向か等を有効活用する。 の「主体的に学びに向か等を有効活用する。 ト、教員の授業評価アン 指導力向上を図る。 、教科担当者の連絡を密いての綿密な打ち合わせ、 業を行う。また、成績不要の内容充実により、学習の内容充実により、学習の内容充実により、学事を図る。 校地内での使用は一切禁司一基準で指導を行う。 学路も含め街頭通学指導るため、個人ロッカーのができるよう指導する。 注意を払う。アンケー東・適切に対応する。	<ul> <li>注述める</li> <li>A</li> <li>B</li> <li>B</li> <li>A</li> <li>A</li> <li>B</li> <li>A</li> <li>B</li> <li>A</li> <li>B</li> <li>B</li> <li>B</li> <li>B</li> <li>B</li> </ul>	<b>西</b> B
重点目標 導力と学具体的目標 等 を 対力と学具体的目標 等 を が と 有 が を が を が を が を が を が を が を が を が を が を が を が と で を が を が を が を が を が を が を が を が を が を が を が を が と で を が と で を が と で が と で が と で が と で が と で が と で が と で が と で が と で が と で が と で が と で と で が と で  と で 	を 大学 で で で で で を が で を が で が に 育業通業と 当徒てス。 に で で が に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に に で に で に で に で に で に に に で に に で に に で に に に に に に に に に に に に に	選する。 具体的方策 (育活動全般を通じブレンケめ、 (育活動全黒板を運送をやりででですが、 (育活動子黒自己業性の自然をできる。) (事をとしてでするでは、 (事をとしてでするでは、 (事をできまますが、 (事をできままが、 (事をできままが、 (事をできままが、 (事をできままが、 (事をできままが、 (事をできままが、 (事をできままが、 (事をできままが、 (事をできままが、 (事をできままが、 (事をできままが、 (事をできままが、 (事をできままが、 (事をできままが、 (事をできままが、 (事をできままが、 (事をできままが、 (事をできまが、 (をできが、 (をできが、 (をでが、 (をできが、 (をでが、 (をでが、 (をでが、 (をでが、 (をでが、 (をでが、 (をでが、 (をでがが、 (をでが、 (をでが、 (をでがが、 (をでがが、 (をでがが、 (をでがが、 (をでがが、 (をでがが、	業務の削減・工夫等、見直しを の「主体的に学びに向か等を有効活用する。 ト、教員の授業評価アン 指導力向上を図る。 、教科担当者の連絡を密いての編密な打ちの成績不 で弱点分野のフォより、プロッカーのである。 を図る。 校地内での使用は一切禁 司一基準で指導を行う。 学路も含め街頭通学指導るため、個人ロッカーの 注意を払う。アンケートを・適切に対応する。 を連びでは対応する。 を連びではでする。 を連びに対応する。 をきるは対応する。 をきるは対応する。 をきるは対応する。 をきるは対応する。 をきるは対応する。 をきるは対応する。 をきるは対応する。 と意識を発を図る。	<ul> <li>注述める</li> <li>A</li> <li>B</li> <li>B</li> <li>A</li> <li>A</li> <li>B</li> <li>A</li> <li>B</li> <li>A</li> <li>B</li> <li>B</li> <li>B</li> <li>B</li> <li>B</li> </ul>	<b>西</b> B
重点具体的 は は に が は に を が は に が に が は が は が に が と で に が と で に が さ に が と で が に が さ が さ が さ が さ に が さ さ に が さ さ さ が さ い に を が さ き さ  さ  さ さ さ さ さ  さ  さ   さ  さ  さ  さ  さ  さ  さ  さ  さ  さ  さ    さ  さ        	を で で で で を が で を が で が に 育業 通業と 当徒てス。 に で で が に で が に で に で が に で に で に で に で に の し し に の に で は に の に が に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の に の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の の に	選する。 具体的方策 (育活動全別を通じブレンケめ、 (育活動子黒板を担けでブレンケめ、 (育活動子黒白が授業する高内ととのでは、 (有活動子里自び授業する高内ととのでは、 (本) を観察が進生といる。 (本) を観察が進生といる。 (本) を関係をできまれる。 (本) を関係をできままままででは、 (本) とのでは、 (本) といいでは、 (本) に、 (本) といいでは、 (本) に、 (本) に、	業務の削減・工夫等、見直しを の「主体的に学びに向か等を有効活用する。 ト、教員の授業評価アン 指導力向上を図る。 、教科担当者の連絡を密いて行う。また、成績不可能のは一方でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	<ul><li>連める</li><li>再付</li><li>A</li><li>B</li><li>B</li><li>A</li><li>A</li><li>B</li><li>A</li><li>B</li><li>A</li><li>B</li><li>A</li><li>B</li><li>B</li><li>A</li><li>B</li><li>B</li><li>A</li><li>B</li><li>A</li><li>B</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A<!--</td--><td><b>西</b> B</td></li></ul>	<b>西</b> B
重点具体的 は は は に 対 の と で に が と で が に が は で が に が と に が に が に が に が に が と に が に が に が に が と に が と で が に が と で が に め が と で が に が と で が と で が と で が と で が と で が と で が と で が と で が さ  さ  さ さ さ さ さ さ さ さ さ さ  さ さ さ さ さ  さ  さ   さ  さ  さ  さ  さ  さ  さ  さ  さ  さ    さ  さ        	ます。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	選する。 具体的方策 (育活動全般を通じてレッケめ、 (育活動全無板を通びでレッケめ、 活動全無板を通びでアにともない。 (育活動子黒板を担けてアにとも、 (育活動子上自が受害する。」 (育活動子上自が受害する。」 (本) を報察ではまれる。 (本) を関係を変い、 (本) を関係をである。 (本) が、し、 (本) を関係をである。 (本) が、し、 (本) が、と、 (本) が、と、	業務の削減・工夫等、見直しを の「主体的に学びに向か等を有効活用する。 ト、教員の授業評価アン 指導力向上を図る。 、教科担当者の連絡を密いての結っている。 、教科担当者の連絡を密いてのができる。 で弱点分野のフォリリスでのでででである。 でである。 ででもなが、ででは、アマップででは、できるよう。アント連・適切に対応する。 る講演会の実施や大き、る、は護者のと意識啓発を図る。 できるなどして、保護者のとでは、これできるなどして、保護者のとでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	<ul><li>連める</li><li>再付</li><li>A</li><li>B</li><li>B</li><li>A</li><li>A</li><li>B</li><li>A</li><li>A</li><li>B</li><li>A</li><li>B</li><li>A</li><li>B</li><li>A</li><li>B</li><li>B</li><li>A</li><li>B</li><li>B</li><li>A</li><li>B</li><li>B</li><li>A</li><li>B</li><li>B</li><li>A</li><li>B</li><li>B</li><li>A</li><li>B</li><li>B</li><li>A</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><l>B<li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B</li><li>B<td><b>西</b> B</td></li></l></ul>	<b>西</b> B
重点具体的 は は は に 対 に が さ が に が に が さ が さ が に が さ が さ が さ が さ が さ が さ が さ が さ が さ が さ が さ が さ が さ が さ  さ  さ  さ さ さ さ さ さ  さ  さ  さ  さ  さ  さ  さ    さ  さ  さ      さ <	また。 でででででででいます。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	選する。 具体的方策 (育活動全別を通じブレンケめ、 (育活動子黒板を担けでブレンケめ、 (育活動子黒白が授業する高内ととのでは、 (有活動子里自び授業する高内ととのでは、 (本) を観察が進生といる。 (本) を観察が進生といる。 (本) を関係をできまれる。 (本) を関係をできままままででは、 (本) とのでは、 (本) といいでは、 (本) に、 (本) といいでは、 (本) に、 (本) に、	業務の削減・工夫等、見直しを の「主体的に学びに向か等を有効活用する。 ト、教員の上を図る。 ト、教員の上を図る。 、教科担当者の連絡を密いて行う。また、成績不可能で行う。また、なり野の大きのででででででででででいる。 、でできるとのでででででででででででででででででででででででででででででででででで	<ul><li>連める</li><li>再付</li><li>A</li><li>B</li><li>B</li><li>A</li><li>A</li><li>B</li><li>A</li><li>B</li><li>A</li><li>B</li><li>A</li><li>B</li><li>B</li><li>A</li><li>B</li><li>B</li><li>A</li><li>B</li><li>A</li><li>B</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A</li><li>A<!--</td--><td><b>西</b> B</td></li></ul>	<b>西</b> B

	路選択を指 導する	担任との個人面談・保護者面談・三者面談や卒業生合格体験発表会を適切に実施する。		В	
关坑	待りる	進路情報が調べやすく、生徒・教員双方にとって利用しやすい進路指	А		A
		導室・進路資料室にする。 平日講習及び長期休業中の講習を実施する。	B A		
		「学びの基礎診断・測定ツール」や模擬試験の有効活用を図る。 「学校推薦型選抜」入試利用者の指導を徹底する。	B A		
	60%以上、 国公立大学	大学進学の意義を再確認させるため、大学共通テストや模擬試験を積極的に受験するよう促す。	В	A	
			A		
	上とする生徒会行事	を行い、最後まで諦めさせないよう指導の徹底を図る。 生徒会行事や部活動を通じて社会性を育成し、同じ目標をもつ生徒同	Α		
	と部活動の	士が人間的に成長するように指導する。		A	
実、施設	図書館と視	生徒会行事や部活動を充実させ、生徒の積極性や意欲を高める。 図書館利用のマナー指導を徹底する。	A A		
		広報紙を定期的に発行して、読者層の開拓や利用者の拡大を図る。 図書館を活用した授業・学習の推進を図り、必要な支援を行う。	A	A	
理、保護	図る	視聴覚機器を活用し、コロナ禍における学校行事等を安全且つ円滑に	A	11	Α
		運営する。 生徒の健康診断、身体測定を円滑に実施する。	Α		
性化		生徒の体調不良や怪我に対する適切な対応に努める。 清掃計画、避難訓練、施設設備の整備・点検を着実に実施し、快適で	A	A	
	境を整える	安全・安心な学校生活と学習環境を維持する。	- T		
		PR を強化して、PTA総会と広報、研修旅行、学年活動への多数の保護者参加を目指す。	В	Α	
	化を図る	後援会加入率90%以上を目指し、未加入者に折に触れ加入を促す。	А		
	時退庁日の	時間外の在校等時間の上限、1月45時間以内、1年360時間以内を実現するため、職員朝会等を通じて該当日を確実に周知し、閉庁日、定時退庁日の確実な実施に努める。また、働き方改革に対する職員の意識		В	
する		の向上に努めるとともに、業務の削減、効率化についても検討する。			В
		運営委員会等を通じて行事の精選や業務の整理を検討し、関係各部署 とも連携しながら業務の削減・工夫・見直しを図る。	В	В	
学年段階		朝学習や講習を通して、学習習慣を定着と基礎学力の向上を図る。 学習と部活動の両立を勧め、総合的な人間力の育成を目指す	A		
に応じた	1年生に対	手帳の活用を勧め、自己管理能力を身につけさせる。 進路講演会や上級学校見学、探究活動を通して、進路への高い目標と広	B		
実		い視野を持たせる。 学年通信や学年PTAを通じて、保護者への進路情報の提供と、学年	A		
	元夫を囚る	の方針、生徒の様子などの情報発信に努める。	Α	A	
		面談等で丁寧な生徒把握に努め、情報を学年団で共有して全員で学年 全体の生徒指導にあたることで、いじめの兆候を見逃さない。	A		
		学年で統一した頭髪・服装指導を継続的に実施し、規範意識を高めさせる。また挨拶の励行を促す。			
		進路講演会や大学講義体験等を通し、高校卒業後の進路に対する意識を	A		
	9年生に対	高める。 朝学習・講習・補習を通して家庭学習の定着を図る。また、手帳等を 活用させ、自己管理能力を身につけさせる。	В		
	する指導の	面談や継続的な生徒指導により、丁寧な生徒把握に努めるとともに、	A	_	A
	兀夫を凶る	いじめの兆候を見逃さないように努める。 継続的な頭髪・服装指導を統一的に実施し、規範意識を高めさせる。 また、挨拶の励行を促す。	В	A	
		修学旅行に関する事前・事後指導を充実させ、修学旅行の意義を一層 高める。	A		
		学年通信や学年 PTA を通じて保護者への進路情報の提供に努める。	Α		
		家庭学習や授業などの学習の重要性を意識させ、自己実現に向けて継続的に努力させる。	В		
	3年生に対	放課後講習や長期休業中の講習を計画的に行い、生徒の学力向上に努	A		
	する指導の 充実を図る	のる。 定期的かつ継続的な面談を通じてキャリアプラニングを意識させ、より前向きな学校生活を送るようにさせる。	A	A	
	ル大で囚る	学年集会やホームルームでの指導を通じて節度ある生活習慣を継続さ	A		
		せる。 相手を思いやり、いじめや差別のない学級・学年集団作りを行う。	A	-	
		学年団で情報を共有し、生徒一人ひとりのを多くの視点から見て多面			
成果	昨年度の成果と	的に指導を行う。 課題を踏まえ、学校運営方針に基づき、概ね重点目標を達成することができた。		A	